



デメテル Demeter

群馬県立自然史博物館だより No.34

Newsletter of Gunma Museum of Natural History 2005.秋

デメテルはギリシャ神話に登場する大地の女神で、群馬県立自然史博物館のシンボルマークになっています。



第25回企画展「ニッポン・ヴァンダーカマー 荒俣宏の驚異博物館」

開催期間 平成17年10月1日(土)~11月27日(日)

「ヴァンダーカマー」とは博物館の原型と言われている「驚異の部屋」を意味し、ヨーロッパ各地で15世紀頃から見られるようになる王族・貴族のコレクションルームのことです。この企画展では100年前の自然史博物館を想定し、江戸以前から現代までの博物学者に視点を当て、その標本やコレクションを中心に展示し、埋もれてしまった業績を紹介いたします。展示は作家の荒俣宏氏と日本大学芸術学部教授木村政司氏の監修の下に、日本大学芸術学部の学生と博物館とのコラボレーションで行います。

展示内容は、6つのセクションに分かれています。

回廊には、幻想動物「キマイラ」を展示します。

最初の部屋は、「ヴァンダーカマー・博物学の部屋」です。好奇心の集積たるヴァンダーカマーの世界を再現します。陳列棚に並ぶ数々の標本・資料をご覧ください。

第二の部屋は、「本草学と天産・物産会の部屋」です。博物学の源流であるいにしへの薬屋や天産・物産会の展示をします。

第三の部屋は、「コレクターの部屋」です。有名

無名の博物学者（田中市郎・角田金五郎・田中恒司・長谷川善和）の偉大な集積を、アニメーションと実資料で紹介いたします。

第四の部屋は、「教育の部屋」です。明治に製作された田中芳男の教育掛図をはじめ、人体骨格標本や模型を展示します。

最後の部屋は、「博物アートの世界」です。荒俣宏氏の貴重な博物図譜コレクションをはじめ、立体アートなどを展示します。

この企画展では、大人も子供もワクワクするような知的好奇心を喚起してサイエンスへの興味を呼び起こし、体験し、実感するエネルギーにあふれた展示を実現させます。今年の秋、博物館に出現する「荒俣宏の驚異博物館」をお楽しみ下さい。

(学芸グループ 松本 功)

企画展記念講演会

「サイエンス+アート=カルチャー」

日時:平成17年10月16日(日)午後1時30分~

講師:木村政司(日本大学芸術学部教授)

特集

展示詳解!

その16

小倉コレクション



アフリカゾウ頭骨



象牙

今春開催された特別展「アフリカの風～小倉寛太郎サファリ3000日～」では、故小倉寛太郎さんがアフリカのケニアでハンティングした哺乳類・鳥類の標本を数多く展示しました。

このうちアフリカゾウ頭骨とヒョウの剥製を常設展示に追加しました。

いずれも今から30年以上前に現地で製作され、1973年に日本に輸入されたものです。

アフリカゾウは、長さが2m近い大きな象牙をもっています。重さは左右合わせて63kgもあります。象牙と頭骨が一体になった野生のアフリカゾウの標本は日本では数が少なく貴重です。博物館に収蔵されている哺乳類資料の多くは動物園で死亡した個体を剥製にしたものです。長年にわたって飼育されてきた動物は、環境などの違いにより野生のものとは骨格に若干の差異が生じてきます。アフリカゾウ頭骨は、受付奥の階段横のキリン全身骨格の隣に展示してあります。

ヒョウの剥製は、Cコーナー博物学者の部屋に加えました。

ヒョウは木登りがうまく、獲物も木に運び上げてから食べます。木の上で今にも動き出しそうな姿を再現しています。日本でつくられた剥製は静止した姿をしています。筋肉の付き方まで非常に正確につくられているようなところに動物剥製についての考え方の違いが現れていると思われます。

以前からCコーナーのライオン、チーターの横には是非ともヒョウを展示したいと考えていました。しかしこのヒョウ剥製は、内部に石膏が詰まっていたみかけからは想像できな



ヒョウ

い位の重さがあります。運搬には大人3人が必要です。どのようにヒョウが爪をたたっている幹を固定したら安全か思案に暮れました。結局、写真のように展示に使った廃材で想像架台を作ることで解決しました。

(学芸グループ 高橋克之)

サイエンス・サタデー

当館では、学校週5日制対応事業の一環で、毎週土曜日にサイエンス・サタデーを開催しています。

サイエンス・サタデーとは、博物館実験室や館周辺を会場に、生物・地学分野の簡単な実験や観察、物づくりを行うものです。館職員とサタデーボランティアの方との協働で実施しています。なるほど!不思議だなあ!といった感動体験ができます。

サイエンス・サタデーに参加して、有意義な土曜日の午後を過ごしてみませんか!詳しくは、学校や公民館等に配布してあるイベントカレンダーをご覧ください。

(総務普及グループ 野口喜充)



写真：6月のサイエンス・サタデーより

NEW

スーパーサイエンスレクチャー

NEW

多くの方が科学に興味をもていただくために、最先端の科学をわかりやすく解説する講座を開講します。そこで、群馬大学の先生に講師をお願いし、県庁2階のビジターセンターで講義などを行っていただきます。申し込みは、電話にて1ヶ月前から受け付けます。みなさまの参加をお待ちしております。

第1回

11月13日(日)

浅間山1783年噴火災害の新しい見方 -鬼押し出し溶岩の先端で大爆発-

群馬大学教育学部 教授 早川由紀夫先生
専門は火山学・リスク学 日本火山の噴火史研究や火山の教材化に取り組む
ホームページは、<http://www.edu.gunma-u.ac.jp/~hayakawa/index.html>



第2回

2月19日(日)

明るさと色が変わる 奇妙な星たち

群馬大学教育学部 教授 岡崎彰先生
専門は宇宙物理学・理科教育
著書に「奇妙な42の星たち -宇宙の秘密教えます-」(誠文堂新光社)
訳書に「星・物語」(丸善)などがある



収蔵資料より 日本人骨格交連複製モデル

㈱京都科学が、京都府立医科大学・京都大学医学部の協力のもとに制作した標準的な日本人の複製骨格です。

身長は、男性（写真左）約165cm、女性（写真右）約150cmです。最新の複製技術が使われており、骨表面のザラザラ感や神経孔・血管孔などが実物そっくり再現されています。

これまで当館所蔵の人体模型は、外国製のものがほとんどでしたが、今回新しく収蔵されました。

第25回企画展「ニッポン・ヴァンダーカマー 荒俣宏の驚異宝物館」で展示します。

(学芸グループ 姉崎智子)



インフォメーション (2005年10月～2006年1月の予定)

第25回企画展「ニッポン・ヴァンダーカマー 荒俣宏の驚異宝物館」10月1日(土)～11月27日(日)

10月 1日(土)～11月27日(日)
 第25回企画展「ニッポン・ヴァンダーカマー 荒俣宏の驚異宝物館」

9日(日) ファミリー自然観察会
 「金山丘陵の地層と化石の観察」

16日(日) 企画展記念講演会「サイエンス+アート=カルチャー」

28日(金) 県民の日のため、無料観覧

毎週土曜日 サイエンス・サタデー「もみじ平総合公園でモミジの観察会」

11月 13日(日) スーパーサイエンスレクチャー
 「浅間山1783年噴火災害の新しい見方-鬼押し出し溶岩の先端で大爆発-」

16日(水)～17日(木) 移動博物館(沼田市立薄根小学校)

毎週土曜日 サイエンス・サタデー「空飛ぶアンハングエラ」

12月 10日(土) 天体観望会「月と惑星」

24日(土)～28日(水) メンテナンス休館日

29日(木)～31日(土) 年末休館日

毎週土曜日 サイエンス・サタデー「岩絵の具でクリスマスカードや年賀状をかこう」

1月 1日(日)～3日(火) 年始休館日

21日(土) 天体観望会「冬の星座と星雲・星団」

24日(火)～27日(金) 資料整理休館日

毎週土曜日 サイエンス・サタデー「博物館からくりカードをつくろう」

利用案内

- 開館時間 午前9:30～午後5:00(入館は午後4:30まで)
- 休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)
- 観覧料 一般500円(400円)、高校・大学生300円(240円)
 ※企画展開催中は、特別料金になります。
 ※中学生以下・障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者1名は無料、()内は20名以上の団体料金

■凡例

- 実験室行事
- 天体観望会
- ファミリー自然観察会
- 学習室行事
- 電話で申し込み
- 往復ハガキで申し込み
- 当日会場で申し込み

休館日
 ○印の日は休館いたします。

10月	11月	12月	1月
日 月 火 水 木 金 土 1 2 ③ 4 5 6 7 8 9 10 ⑪ 12 13 14 15 16 ⑬ 17 18 19 20 21 22 23 ⑭ 24 25 26 27 28 29 30 ⑮	日 月 火 水 木 金 土 . . 1 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9 10 11 12 13 ⑬ 14 15 16 17 18 19 20 ⑮ 21 22 23 24 25 26 27 ⑯ 28 29 30 . . .	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9 10 11 ⑪ 12 13 14 15 16 17 18 ⑬ 19 20 21 22 23 ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑	日 月 火 水 木 金 土 ① ② ③ 4 5 6 7 8 9 ⑩ 11 12 13 14 15 ⑪ 17 18 19 20 21 22 ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ 28 29 ⑳ ㉑